

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250562002001	科目番号 / Course code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 16111_024		
授業科目名 / Course title	● スポーツ演習(ソフボール・ニュースポーツ) / Sport and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	峰松 和夫 / Kazuo Minematsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	峰松 和夫 / Kazuo Minematsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	峰松 和夫 / Kazuo Minematsu		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医(保)、工、環(2年生)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	minematsu▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館111研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2359		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日11~12時 メールで事前にアポをとること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施する。内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格となる。		
授業到達目標/Course goals	ティーボール・ソフトボール ・投・捕・打・走の基本的技能が身についている ・バックアップや中継プレーなどチームの一員としての動きを伴ったゲームを行うことができる ニュースポーツ ・走・投・跳とともに道具を操作する基本的技能が身についている ・味方へのフォローや組織的なアタック・ディフェンスなどチームの一員としての動きを伴ったゲームを行うことができる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	欠席が3回以上の者、試験を受験しない者は失格となる。 授業への積極性と参加態度(40点) + 個人技能評価(20点) + ゲームにおける集団技能評価(20点) + 筆記試験(20点) = 合計100点のうち60%以上が合格となる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習：全種目ゲーム形式で授業するため、ルールの理解は必須である。下記教科書の欄に記載のある教本には必ず目を通し理解したうえで授業へ参加すること(2h)。 復習：授業を通して自らの「技術的・技能的能力」「組織・運営管理能力」「社会的統治能力」を振り返り、次回の課題を整理すること(1h)。授業で扱う全種目が集団で行う内容である。毎回の振り返りは個人の知識・技能の向上だけでなく一層のチーム力向上に寄与する。		
キーワード/Keywords	生涯スポーツ、ソフトボール、ニュースポーツ		

教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する。教科書は使用しないが、下記webサイトとPDF冊子から事前学習しておくこと。 ・ソフトボール参考資料 「学校体育ソフトボール」 http://www.softball.or.jp/school/guidebook.html （PDF版でダウンロード可能）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	貴金属ははずし爪は短く切っておくこと。服装等、ルールに従い、クラスの構成員と協力しあうこと。体調を自己管理し、欠席しなくていいようにすることも本授業の内容にかかわってくるのでこの点も注意すること。 授業はグラウンドで行う。スパイクでの参加は認めない。雨天時やグラウンド状態不良の場合には体育館で授業する。体育館シューズを準備すること。裸足での参加は認めない。 本授業は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目「体育」である。教員免許を取得しようと考えている者は、履修する必要がある。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	この授業は対面で実施します。授業実施で変更がある場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	授業では、技能の上達を目指そう、チームメートと協力しよう、楽しく取り組もうとする態度で参加すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション【対面】
第2回	授業の方法と進め方の説明【対面】 ティーボール、ソフトボール、ニュースポーツのルールと特性を学ぶ チーム編成
第3回	ソフトボールの実践に関わる基本的技能の習得と向上とチーム練習 【対面】 個人技能と集団技能の習得と確認
第4回	ソフトボールの実践に関わる基本的技能の習得と向上とチーム練習 【対面】 個人技能と集団技能の習得と確認
第5回	ソフトボール 【対面】 打つを工夫したゲーム（ラケットベースボール）
第6回	ソフトボール 【対面】 打つを工夫したゲーム（ティーボール）
第7回	ソフトボール 【対面】 ゲーム（ソフトボール）
第8回	ソフトボール 【対面】 ゲーム（ソフトボール）
第9回	ソフトボール 【対面】 技能評価試験
第10回	屋内のニュースポーツの実践に関わる基本的技能の習得と向上とチーム練習 【対面】 個人技能と集団技能の習得と確認
第11回	屋内のニュースポーツ 【対面】
第12回	屋内のニュースポーツ 【対面】 ゲーム
第13回	屋外のニュースポーツの実践に関わる基本的技能の習得と向上とチーム練習 【対面】 個人技能と集団技能の習得と確認
第14回	屋外のニュースポーツ 【対面】 ゲーム
第15回	屋外のニュースポーツ 【対面】 ゲーム
第16回	筆記試験【対面】

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250562002003	科目番号 / Course code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 16111_024		
授業科目名 / Course title	● スポーツ演習 ((バレーボール・バドミントン) / Sport and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	久保田 もか / Kubota Moka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	久保田 もか / Kubota Moka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	久保田 もか / Kubota Moka		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	L1・L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kubota▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館107研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜1限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Course goals	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み：30% 実技試験：40% 筆記試験：30% 全授業への出席を原則とし、授業への参加状況、実技・筆記試験などによって総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が3回以上の場合は失格となる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業に関する内容について種目における様々な運動やルールに関する知識について事前に学習する(1h)。また、授業において習得した技術を活かし、生涯スポーツに繋げる場での実践に取り組む(2h)。		
キーワード/Keywords	生涯スポーツ, 合理的な技術習得, スポーツ文化		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて指示		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	本授業は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目「体育」である。教員免許を取得しようと考えている者は履修する必要がある。教員免許取得を見据え、演習においては動きやすいスポーツウェア, 屋内外シューズを準備し受講すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	授業はすべて対面にて実施
学生へのメッセージ/Message for students	授業にできる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高等学校保健体育授業における指導実践および部活動指導実践
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(対面)
第2回	演習 1 レクリエーション：レクリエーションワークの解説と実習(対面)
第3回	演習 2 バレーボール：技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス(対面)
第4回	演習 3 バレーボール：アンダーハンドパス、スパイク(対面)
第5回	演習 4 バレーボール：スパイク、サービス(対面)
第6回	演習 5 バレーボール：スパイク、ブロック(対面)
第7回	演習 6 バレーボール：三段攻撃、ローテーション(対面)
第8回	演習 7 バレーボール：異質グループによるゲームその 1 (対面)
第9回	演習 8 バレーボール：異質グループによるゲームその 2 (対面)
第10回	演習 9 バレーボール：試合の進め方(対面)
第11回	演習10 バレーボール：試合（リーグ戦またはトーナメント戦）(対面)
第12回	演習11 バドミントン：解説と基本ストローク(対面)
第13回	演習12 バドミントン：シングルスゲームの説明、異質グループによるゲーム(対面)
第14回	演習13 バドミントン：ダブルスゲームの説明、異質グループによるゲーム(対面)
第15回	演習14 バドミントン：等質グループによるリーグ戦(対面)
第16回	まとめのテスト(対面)

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250562002004	科目番号 / Course code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 16111_024		
授業科目名 / Course title	●スポーツ演習(サッカー) / Sport and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L1・L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館110研究室		
担当教員TEL/Tel	2358		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日5限(16時10分~17時40分) * オフィスアワー設定時に会議のために不在にする場合があるため、できる限り事前に予約してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化, ルール, 技術を習得し, 生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ, 実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施する。内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Course goals	・自己及びチームの課題を発見し, 練習計画表を作成することができる。 ・ルールや戦術を理解し, チームや個々の技能の特性を生かして, ゲームが進められる戦術を考えてプレーすることができる。 ・チームメイトと討論し, 自己及びチームの課題を計画表として作成し, 練習及びゲームを実践することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	以下の割合で総合的に評価し, 60%以上の評点を合格とする。 欠席が3回以上の者, 試験を受験しない者は失格とする。 (評価の割合) 授業に対する積極的な取り組み 10% 計画表 25% 個人技能・集団技能(練習やゲームの内容をチーム毎に評価する) 25% 筆記試験 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: チームごとに練習計画表を立案し, 授業担当者と協議する。(2h) 事後学習: 授業の成果に対して事実を認識し, 原因を分析し, 対応策を挙げて次回の練習計画表に反映させる。(2h)		

キーワード/Keywords	スポーツ文化としてのサッカー，他者との運動実践，行為的省察
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない．必要に応じて資料を配付する．
受講要件（履修条件）/Prerequisites	本授業は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目「体育」である．教員免許を取得しようと考えている者は履修する必要がある．
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます．授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい． アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	本授業科目は特別な事情がない限り、対面で実施する．
学生へのメッセージ/Message for students	身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する． これまでに受講した体育とは異なる観点から大学体育を考えて欲しい．
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	総合型地域スポーツクラブにおける指導経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（クラス分け、対面）
第2回	グルーピング、授業展開方法の説明、軽度の運動（対面）
第3回	グループ学習 1（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・ボールフィーリング（タッチ・リフト・ターン）の学習
第4回	グループ学習 2（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・ドリブル及びシュートの学習
第5回	グループ学習 3（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・トラップ及びルール（オフサイド）の学習
第6回	グループ学習 4（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・キック三種（インサイド、インステップ、アウトサイド）の学習 ・パス（1対1, 多対多）の学習
第7回	グループ学習 5（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・オフENSE及びディフェンス（1対1）の学習
第8回	グループ学習 6（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・オフENSE及びディフェンス（2対1, 2対2）の学習
第9回	グループ学習 7（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・オフENSE及びディフェンス（3人以上対3人以上）の学習
第10回	グループ学習 8（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・チームで採用する戦術の学習
第11回	グループ学習 9（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・チームで採用する戦術の学習
第12回	グループ学習 10（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・チームに必要な技術の強化
第13回	グループ学習 11（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・チームに必要な技術の強化
第14回	グループ学習 12（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・総合的な練習
第15回	グループ学習 13（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・総合的な練習
第16回	試験（オンライン）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250562002004	科目番号 / Course code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 16111_024		
授業科目名 / Course title	●スポーツ演習(サッカー) / Sport and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 浩二 / Koji Takahashi		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L1・L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館110研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2358		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日5限(16時10分~17時40分) * オフィスアワー設定時に会議のために不在にする場合があるため、できる限り事前に予約してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化, ルール, 技術を習得し, 生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ, 実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施する。内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Course goals	・自己及びチームの課題を発見し, 練習計画表を作成することができる。 ・ルールや戦術を理解し, チームや個々の技能の特性を生かして, ゲームが進められる戦術を考えてプレーすることができる。 ・チームメイトと討論し, 自己及びチームの課題を計画表として作成し, 練習及びゲームを実践することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	以下の割合で総合的に評価し, 60%以上の評点を合格とする。 欠席が3回以上の者, 試験を受験しない者は失格とする。 (評価の割合) 授業に対する積極的な取り組み 10% 計画表 25% 個人技能・集団技能(練習やゲームの内容をチーム毎に評価する) 25% 筆記試験 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: チームごとに練習計画表を立案し, 授業担当者と協議する。(2h) 事後学習: 授業の成果に対して事実を認識し, 原因を分析し, 対応策を挙げて次回の練習計画表に反映させる。(2h)		

キーワード/Keywords	スポーツ文化としてのサッカー，他者との運動実践，行為的省察
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない．必要に応じて資料を配付する．
受講要件（履修条件）/Prerequisites	本授業は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目「体育」である．教員免許を取得しようと考えている者は履修する必要がある．
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます．授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい． アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考/Remarks	本授業科目は特別な事情がない限り、対面で実施する．
学生へのメッセージ/Message for students	身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する． これまでに受講した体育とは異なる観点から大学体育を考えて欲しい．
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	総合型地域スポーツクラブにおける指導経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（クラス分け、対面）
第2回	グルーピング、授業展開方法の説明、軽度の運動（対面）
第3回	グループ学習 1（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・ボールフィーリング（タッチ・リフト・ターン）の学習
第4回	グループ学習 2（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・ドリブル及びシュートの学習
第5回	グループ学習 3（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・トラップ及びルール（オフサイド）の学習
第6回	グループ学習 4（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・キック三種（インサイド、インステップ、アウトサイド）の学習 ・パス（1対1,多対多）の学習
第7回	グループ学習 5（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・オフENSE及びディフェンス（1対1）の学習
第8回	グループ学習 6（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・オフENSE及びディフェンス（2対1,2対2）の学習
第9回	グループ学習 7（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・オフENSE及びディフェンス（3人以上対3人以上）の学習
第10回	グループ学習 8（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・チームで採用する戦術の学習
第11回	グループ学習 9（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・チームで採用する戦術の学習
第12回	グループ学習 10（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・チームに必要な技術の強化
第13回	グループ学習 11（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・チームに必要な技術の強化
第14回	グループ学習 12（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・総合的な練習
第15回	グループ学習 13（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）（対面） ・総合的な練習
第16回	試験（オンライン）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250562002006	科目番号 / Course code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 16111_024		
授業科目名 / Course title	● スポーツ演習(テニス・卓球) / Sport and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	飛奈 美耶子 / Miyako Tobina		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	飛奈 美耶子 / Miyako Tobina		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	飛奈 美耶子 / Miyako Tobina		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産(2年生)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobimiyako▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は、▲を@に変えること)		
担当教員研究室/Office	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Course goals	テニス・卓球の基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 20% 筆記試験及び技術の上達度 30% ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	テニス・卓球のルールを予習・復習すること。また、インターネット等の試合動画で戦略ならびに技術を学習しておくこと(事前学習: 1時間、事後学習: 1時間)。		
キーワード/Keywords	生涯スポーツ		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	本授業は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目「体育」である。教員免許を取得しようと考えている者は履修する必要がある。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本的に対面方式としますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSにて事前に連絡します。また、筆記試験はレポート課題になることもあります。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	飛奈美耶子 / 保健体育科教員、地域総合型スポーツクラブでの指導
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	テニス技術の習得・ゲーム
第3回	テニス技術の習得・ゲーム
第4回	テニス技術の習得・ゲーム
第5回	テニス技術の習得・ゲーム
第6回	チーム対抗戦
第7回	チーム対抗戦
第8回	チーム対抗戦
第9回	卓球技術の習得・ゲーム
第10回	卓球技術の習得・ゲーム
第11回	卓球技術の習得・ゲーム
第12回	卓球技術の習得・ゲーム
第13回	チーム対抗戦
第14回	チーム対抗戦
第15回	チーム対抗戦
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250562002007	科目番号 / Course code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 16111_024		
授業科目名 / Course title	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン) / Sport and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	熊野 晃三		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	熊野 晃三		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	熊野 晃三		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産(2年生)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumano▲g.n-junshin.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合体育館 講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 10:30 ~ 12:20		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Course goals	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していくことにより、獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるようにする。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方、および態度：20% 実技テスト：40% 筆記試験：40% 全授業への出席を原則とし、実技テスト、授業への取り組み、筆記試験などによって評価する。ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(予習) 各種目のルールの確認するとともに、各々の技術についてSNSの動画の視聴によってそのイメージを描いてみる(0.5h)。 (復習) 授業で学習した技術について、イメージトレーニングを実施するとともに、各種目ごとの参考文献、論文等を使って技術の確認をし、その定着を図る(0.5h)。		

キーワード/Keywords	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化
教科書・教材・参考書/Materials	教材：必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する
受講要件（履修条件）/Prerequisites	本授業では、指定したユニフォームは特にはないが、動き易いスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。 ・本授業は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目「体育」である。教員免許を取得しようと考えている者は履修する必要がある。 "
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support▲ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業はすべて総合体育館2階のフロアで対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動およびスポーツが、身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（コース別演習のコース決定など） 授業はすべて対面で実施する。
第2回	演習1 バレーボール 技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス
第3回	演習2 アンダーハンドパス、スパイク
第4回	演習3 スパイク、サーブ、ブロック、異質グループによるゲーム（セッターキャッチによる）
第5回	演習4 異質グループによるゲーム（固定セッター制でセッターキャッチによる）
第6回	演習5 異質グループによるゲーム（固定セッター制による）
第7回	演習6 スパイクのテスト 異質グループによるゲーム（固定セッター制による）
第8回	演習7 ソフトバレーボール（ソフトバレーボールの解説およびルール説明とゲーム）
第9回	演習8 バドミントン 解説と基本ストローク
第10回	演習9 シングルスゲームの説明、リーグ戦表の記入法、異質グループによるリーグ戦
第11回	演習10 等質グループによるリーグ戦（サーブに留意して）
第12回	演習11 等質グループによるリーグ戦（ホームポジションの意識）
第13回	演習12 等質グループによるリーグ戦（試合の戦略を考慮して）
第14回	演習13 ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦（チームワークを意識して）
第15回	演習14 等質グループによるリーグ戦（試合の戦略を考慮して）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250562002008	科目番号 / Course code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 16111_024		
授業科目名 / Course title	● スポーツ演習(バレーボール・バドミントン) / Sport and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	飛奈 美耶子 / Miyako Tobina		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	飛奈 美耶子 / Miyako Tobina		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	飛奈 美耶子 / Miyako Tobina		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・経(2年生)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tobimiyako▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は、▲を@に変えること)		
担当教員研究室/Office	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Course goals	バドミントン・卓球・バレーボールの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業に対する積極的な参加 50 % 授業への取り組み方 20 % 筆記試験及び技術の上達度 30 % ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	バドミントン・卓球・バレーボールのルールを予習・復習すること。また、インターネット等の試合動画で戦略ならびに技術を学習しておくこと(事前学習:1時間、事後学習:1時間)。		
キーワード/Keywords	生涯スポーツ		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	本授業は、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目「体育」である。教員免許を取得しようと考えている者は履修する必要がある。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本的に対面方式としますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSにて事前に連絡します。また、筆記試験はレポート課題になることもあります。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	飛奈美耶子 / 保健体育科教員、地域総合型スポーツクラブでの指導
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	バレーボール技術の習得・ゲーム
第3回	バレーボール技術の習得・ゲーム
第4回	バレーボール技術の習得・ゲーム
第5回	チーム対抗戦
第6回	チーム対抗戦
第7回	卓球技術の習得・ゲーム
第8回	卓球技術の習得・ゲーム
第9回	チーム対抗戦
第10回	チーム対抗戦
第11回	バドミントン技術の習得・ゲーム
第12回	バドミントン技術の習得・ゲーム
第13回	バドミントン技術の習得・ゲーム
第14回	チーム対抗戦
第15回	チーム対抗戦
第16回	筆記試験

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250562002010	科目番号 / Course code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 16111_024		
授業科目名 / Course title	● スポーツ演習(サッカー・ソフトテニス) / Sport and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小柳 勝彦 / Koyanagi Katsuhiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小柳 勝彦 / Koyanagi Katsuhiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小柳 勝彦 / Koyanagi Katsuhiko		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L3・L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-koyanagi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 109 研究室		
担当教員TEL/Tel	内線2357		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週水曜日午前中(事前に予約すること)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な運動をとおりて身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化, ルール, 技術を習得し, 生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ, 実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施する。内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標/Course goals	・自己及びチームの課題を発見し, それらを学修に反映させることができる。 ・ルールや戦術を理解し, チームや個々の技能の特性を生かして, ゲームが進められる戦術を考えてプレーすることができる。 ・チームメイトと討論し, 練習及びゲームを実践することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	以下の割合で総合的に評価し, 60%以上の評点を合格とする。 欠席が3回以上の者, 試験を受験しない者は失格とする。 (評価の割合) 授業に対する積極的な取り組み 25% 個人技能・集団技能(練習やゲームの内容をチーム毎に評価する) 35% 筆記試験 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習: チームごとに練習計画を立案する。(2h) 事後学習: 授業の成果に対して事実を認識し、原因を分析し、対応策を挙げて次回の練習計画に反映させる。(2h)		
キーワード/Keywords	スモールサイドゲーム, 文化としてのスポーツ, 大学体育		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	本授業科目は, 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目「体育」である。 教員免許を取得しようと考えている者は履修する必要がある。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	本授業科目は特別な事情がない限り、対面で実施する。
学生へのメッセージ/Message for students	身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。 これまでに受講した体育とは異なる観点から大学における体育を考えて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高等学校教諭（保健体育科）及び競技スポーツ指導者としての経験から、演習において指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス（対面）
第2回	サッカー 個人技能1 ドリブル・パス・シュート，スモールサイドゲーム（対面）
第3回	サッカー 個人技能2 1vs1の攻防，スモールサイドゲーム（対面）
第4回	サッカー チーム戦術1 2vs2以上の攻防，スモールサイドゲーム（対面）
第5回	サッカー チーム戦術2 複数のスモールサイドゲームの展開（対面）
第6回	サッカー ゲーム1 チーム成熟に向けた戦術の理解，スモールサイドゲーム（対面）
第7回	サッカー ゲーム2 チーム成熟に向けた戦術の改善，スモールサイドゲーム（対面）
第8回	サッカー （前半のまとめ） フルゲーム（対面）
第9回	ソフトテニス 個人技能（対面） サービス・ラリー
第10回	ソフトテニス 戦術学習（対面） 戦術・ゲームメイク
第11回	ソフトテニス ゲーム（対面） 簡易ゲーム
第12回	ソフトテニス チーム編成・練習（対面）
第13回	ソフトテニス リーグ戦1（対面）
第14回	ソフトテニス リーグ戦2（対面）
第15回	ソフトテニス 後半のまとめ（リーグ戦3）（対面）
第16回	試験（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2025/09/29 ~ 2026/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20250562002011	科目番号 / Course code	05620020
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEHS 16111_024		
授業科目名 / Course title	● スポーツ演習(卓球・バスケットボール) / Sport and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田端 真弓 / Tabata Mayumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	田端 真弓 / Tabata Mayumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	田端 真弓 / Tabata Mayumi		
科目分類 / Course Category	健康・スポーツ科学科目, 健康・スポーツ科学科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L3、L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mtabata▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部108研究室		
担当教員TEL/Tel	2355		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜 2 限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自らの技術的課題やスポーツの多様な価値について理解し、バスケットボールや卓球を通じて実践する。また、自己の技能の向上をめざしながら主体的にリーグ戦やトーナメント戦などの運営を行うとともに安全管理、健康管理などについて学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	1. 自己やチームが抱えた運動課題に対して、グループのメンバーとともに課題解決を図ることができる。 2. 用具・施設などの安全管理や個人の健康管理に配慮しながらゲーム運営ができる。 3. スポーツの多様な価値を理解、実践し、自らのスポーツとのかかわり方について説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☒ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	運動実践記録 (45%) 試験 (45%) 授業への貢献度・取り組み (10%) 3 回以上欠席した受講生は失格となる。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前: 体調の管理をすること及び提示されたルールについて調べておくこと (2h) 事後: 心身の変化について確認をすること及び運動課題について既習事項とのつながりを検討すること (2h)		
キーワード/Keywords	スポーツの文化、スポーツの価値		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に提示する		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面にて実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	中学校・高等学校保健体育教諭としての実務経験より、高等教育段階に応じた運動の考え方及びスキルとその捉え方について指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	運動実践の進め方及び多様な価値その位置づけ（対面）
2	卓球：シングルス・ラリー、フォアハンドストローク（対面）
3	卓球：シングルス・スマッシュ（対面）
4	卓球：ダブルス・ペア編成及びショートカット（対面）
5	卓球：ダブルス・ショート（対面）
6	卓球：ダブルス・サービス及びレシーブ（ストップ）（対面）
7	卓球：ダブルス・フットワーク（対面）
8	卓球：ダブルスのまとめ（対面）
9	バスケットボール：交流戦・チーム編成及びシュート
10	バスケットボール：交流戦・3on3（対面）
11	バスケットボール：総当たり戦・5on5（対面）
12	バスケットボール：総当たり戦・スクリーン（対面）
13	バスケットボール：総当たり戦・マンツーマンディフェンス（対面）
14	バスケットボール：総当たり戦・ディフェンス（対面）
15	バスケットボール：トーナメント戦（対面）
16	試験（対面）